

1月18日/ 肥前地区キャリア教育プログラムの第3回目、(株)香蘭社へ訪問

洗練されたデザインの陶磁器や日本で初めて碍子を生産したことで有名な、有田町の香蘭社を学生11人が訪問し、碍子工場とショールーム見学しました。竹下取締役部長のご説明で、伝統技術の素晴らしさを堪能しました。

1月18日 明治時代に建築されたレトロな香蘭社本社内での説明会



●2018 肥前地区キャリア教育プログラム（佐賀大学肥前セラミック研究センターセラミックサイエンス研究部門長矢田先生コーディネート）

佐賀大学では昨年4月に新しく「肥前セラミック研究センター」が発足し、窯業（陶磁器やファインセラミックス）に関する教育・研究を推進しています。佐賀大学の学生さんにご案内するこの教育プログラムでは、窯業に関連する肥前地区企業と肥前セラミックス研究センターと町の“産・学・官”が連携し、佐賀大学の学生に肥前地区の“企業のよさ”や“街のよさ”を知ってもらい、学生さんの肥前地区企業への就職を後押ししたいと考えて昨年度より行っています。

今年は、肥前地区で活躍する企業6社（岩尾磁器工業(株)、(株)香蘭社、(株)佐賀 LIXIL 製作所、日本タングステン (株)、日本ハードメタル(株)、パナソニックデバイス佐賀(株))を訪問し、工場では製造及び研究開発の現場を見学したり、業務内容の説明を受けたりすることで、就職後の明確なビジョンを持ってもらい、肥前地区の企業の社会的な役割を知ってもらいます。また、佐賀県内の主に無機材料を取り扱う企業について紹介するとともに、佐賀県で生活していくことのよさについて紹介します。

●既に、12月11、12日に、15名の学生がパナソニックデバイス佐賀(株)様と(株)佐賀 LIXIL 製作所鹿島工場様を訪問させていただいています。